

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 福島県 】

学校名【 郡山市立御館小学校 】

1 実践テーマ	Ⅲ ・ V
2 実施対象者 (学年・人数)	郡山市立御館小学校 第5学年12名 第6学年12名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (体育科) ○ ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	「パラリンピック」について学ぶことを通して、インクルーシブな社会の一員としての心構えをもつことができる。
5 取組内容	○1月15日 ZOOMを活用したボッチャ体験（5・6年生） ①ボッチャのルール説明（講師：福島県障がい者スポーツ協会）  ②試しのゲーム 

	<p>③トーナメント戦</p>  <p>④質問コーナー</p> 
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ オリンピックやパラリンピックへの興味・関心を高めることができた。 ○ 障がい者スポーツへの理解が深まった。 ○ 障がい者への理解を深めることができた。 ○ 障がい者と接する際の抵抗感を下げることができた。
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>○ コロナ禍での実践ということで、感染拡大防止を第一に配慮した。講師の先生も、ZOOMでの参加にして対応した。少しでも日常化を図って、子どもたちの理解を深めることができるように環境の整備をした。多目的室にミニチュアのボッチャ用コートを作り、取り組みたいときにいつでも取り組むことができるようにした。ボッチャ用のボールは、郡山市スポーツ振興課より借用することができた。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>事前・事後指導の中でねらいを明確にすることによって、楽しいだけの活動にならないようにする。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>○ボッチャを全校に広げていきたい。</p>